

気象台からの情報提供

- 大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善
- 気象等特別警報の基準
- 大雨特別警報(土砂災害)の新たな基準値の設定
- 「危険度分析」とリスク情報を重ね合わせて表示
- 都道府県管理河川でも「危険度分布」とリスク情報を重ね合わせて表示
- 「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善
- 「自らの命は自らが守る」社会を支える取り組み
- 気象庁防災情報Twitterとアカウントの開設
- SNSを活用した防災情報発信の強化

大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善

【令和2年6月18日】

令和〇年台風第〇号に関する宗谷地方気象情報 第〇号

令和〇年〇月〇日〇時〇分 稚内地方気象台発表

大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、〇〇川、〇〇川等では氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報を発表していますのでご確認ください。

発表例

〇〇川洪水予報発時
令和〇年〇月〇日〇時〇分
〇〇開発建設部
〇〇地方気象台

「〇〇地方の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

〇〇地方の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、〇〇川、〇〇川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 〇〇川^{から}では、**氾濫危険情報(警戒レベル4相当情報)**を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
〇〇川	〇〇井 (B市)	氾濫危険水位超過	水位上昇中、まもなく最高水位
〇〇川	〇〇橋 (C市)	氾濫危険水位超過	水位上昇中
〇〇川	〇〇尾 (D郡町)	警戒判断水位超過	水位上昇中
〇〇川	〇〇木 (E市)	今後の水位に留意	水位上昇中

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <http://www.mer.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係: 国土交通省 〇〇開発建設部 tel: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇
気象関係: 気象庁 〇〇地方気象台 tel: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

- 大雨特別警報から警報等に切り替える際、河川氾濫の危険性が高い状態が継続する場合において、引き続き河川氾濫への注意・警戒を呼びかける防災気象情報の発表を令和2年6月18日(木)13時から開始。
- 本情報は、指定河川洪水予報の対象となる各河川に対し「府県気象情報(図形式)」により発表します。
- 発表中の指定河川洪水予報や洪水警報の危険度分布と合わせ、各種防災対応に御活用ください。

【令和2年出水期から】

- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするものは廃止し、何らかの災害が既に発生している可能性が極めて高い（警戒レベル5相当）雨を要因とするものに統一します。

現象	特別警報の基準	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、	
	若しくは、 数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合	
暴風	数十年に一度の強度の台風や 同程度の温帯低気圧により	暴風が吹くと予想される場合
高潮		高潮になると予想される場合
波浪		高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により 雪を伴う暴風が吹くと予想される場合	

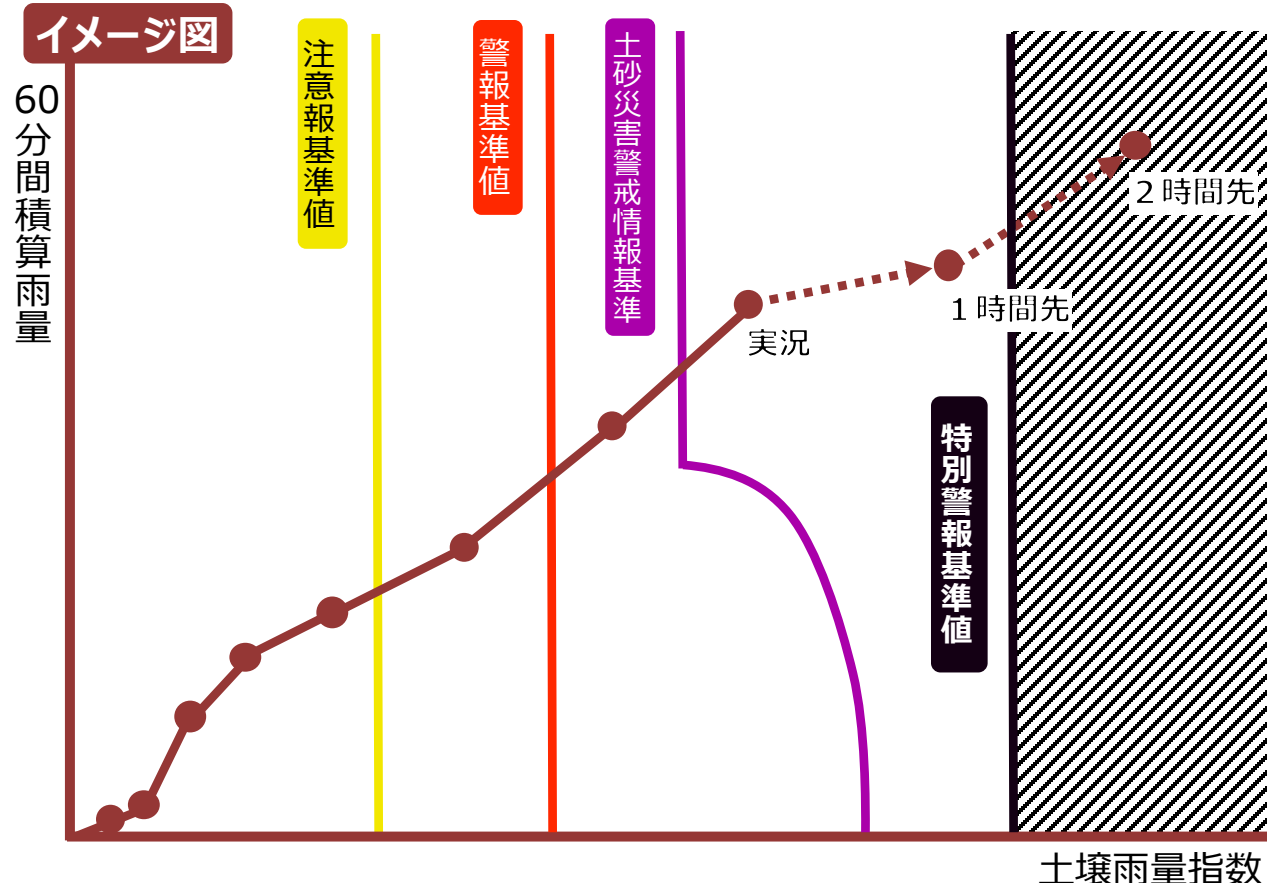

**雨を要因とする
特別警報の指標
(発表条件)**


この部分を廃止


**台風等を
要因とする
特別警報の指標
(発表条件)**

【令和2年出水期から順次】

- 令和2年度は、短時間指標のうち、大雨特別警報（土砂災害）に係るものについて見直しを行います。 島しょ部などの狭い地域においても大雨特別警報の発表が可能になります。



基準値の設定に用いる災害

土砂災害警戒情報

→集中的に発生する急傾斜地崩壊及び土石流

大雨特別警報（土砂災害）

→多大な被害をもたらす土砂災害
〔大規模または同時多発的な土石流、深層崩壊など〕

※ 特別警報の基準値は、警報・注意報の基準値と同様、定期的に見直しを検討することとする。

局所的な土砂災害を引き起こす溪流の広さを念頭に、危険度分布のもととなる指数の解析精度等も考慮して概ね10格子とする。
※ 1km格子が10個未満の島も発表対象となり得る（周囲の降雨状況等から総合的に判断）

多大な被害をもたらした現象に相当する基準値を設定し、この基準値以上となる1 km格子が概ね10格子以上まとまって出現すると予測され、かつ、土砂災害発生に関係するような激しい雨※がさらに降り続くと予測される場合に、大雨特別警報を発表。

※ 10分間雨量5ミリ以上（1時間30ミリ以上）の雨に相当。

【令和元年12月24日】

「危険度分布」とリスク情報を重ね合わせて表示

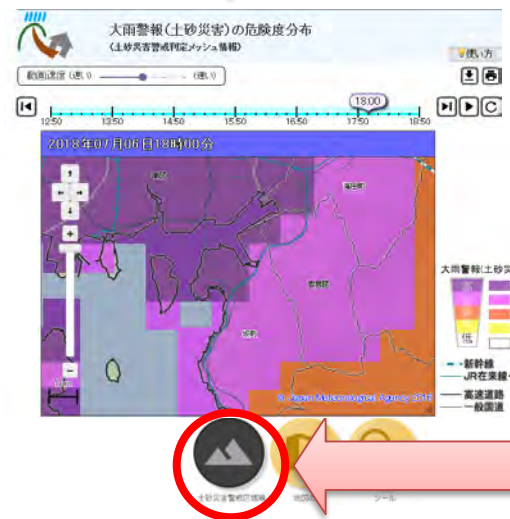
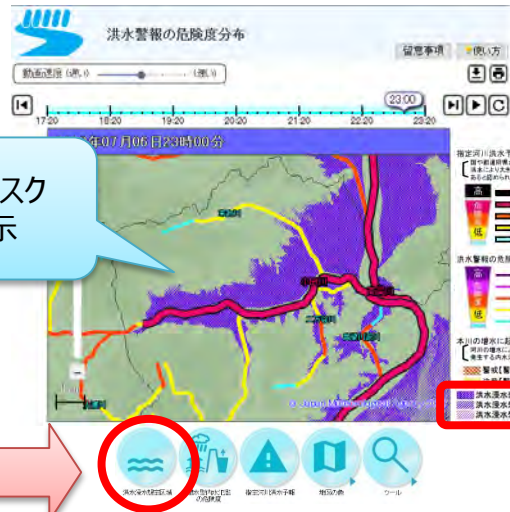
- リアルタイムの大雨の危険度と併せ、自分が住んでいる場所の危険性も同時に確認できるよう、令和元年12月24日に「危険度分布」とリスク情報を重ね合わせて表示するように改善。
- 住民の自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難勧告情報の発令につながることを期待。



将来的には水害リスク
ライン情報も表示

洪水浸水
想定区域を
重ね合わせ

ボタンで切替



土砂災害警戒区域
(予定箇所を含む)を
重ね合わせ

ボタンで切替

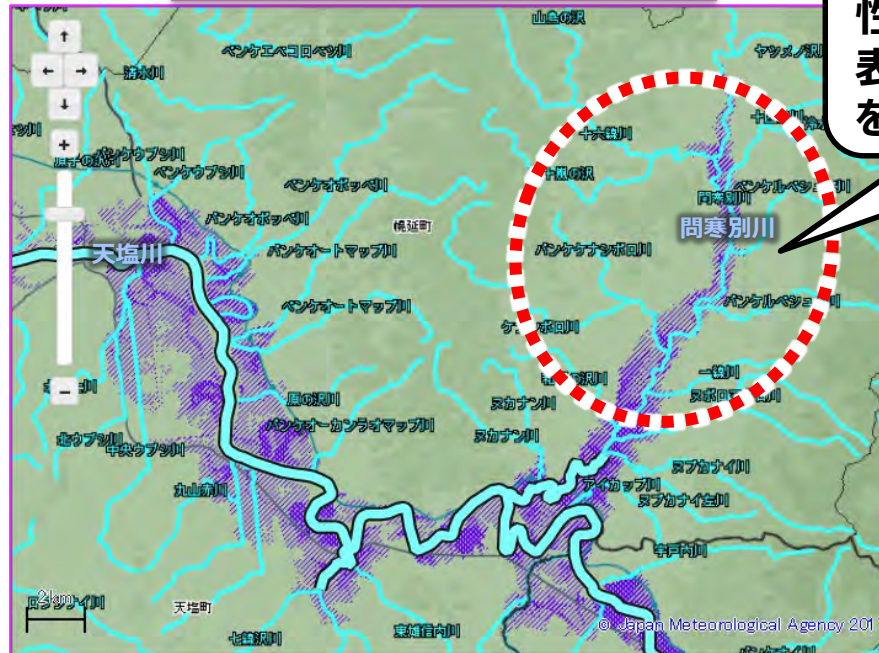


- ※ 区域データの時点を示すとともに、最新の情報は都道府県に問合せいただくよう注釈を追記。
- ※ 土砂災害警戒区域等に指定されていない箇所でも、土石流等の発生する可能性がある旨、留意事項として追記。

【令和2年3月下旬】

- 国土交通省管理河川のみでなく、都道府県管理河川についても危険性を同時に確認できるよう、データが取得できた河川について、令和2年3月下旬に「危険度分布」と重ね合わせて表示するよう改善。
- 住民の自主的な避難の判断や、市町村のより適切な避難勧告情報の発令につながることを期待。

改善した表示



都道府県管理河川の危険性も同時に確認できるよう表示（洪水浸水想定区域を重ねて表示）。

ホームページに留意事項を追記

■ 洪水浸水想定区域について

洪水浸水想定区域が作成されている河川は、大河川を中心とした一部の河川に限られます。また、一部の都道府県管理河川については、河川施設整備の水準とする計画規模の降雨に基づく洪水浸水想定区域を表示しています。このため、洪水浸水想定区域作成の対象となっていない河川等からの氾濫や、雨の降り方等によっては、ここに掲載した洪水浸水想定区域以外（特に、中小河川の周辺）でも浸水するおそれや、浸水深が深くなるおそれがあることに留意が必要です。

今後も新たな洪水浸水想定区域が公表され次第、追加して重ね合わせ表示します。

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

【令和2年5月28日】

➤ 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。



- 指定河川洪水予報
- 水位情報(川の防災情報)

指定河川洪水予報
国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。

- | | |
|-----|------------------|
| 高 | 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】 |
| 危険度 | 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】 |
| | 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】 |
| 低 | 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】 |
| | 発表なし |

- 洪水警報の危険度分布
- | | |
|-----|-----------------|
| 高 | 極めて危険 |
| 危険度 | 非常に危険【警戒レベル4相当】 |
| | 警戒【警戒レベル3相当】 |
| 低 | 注意【警戒レベル2相当】 |
| | 今後の情報等に留意 |

本川の増水に起因する内水氾濫(湛水型の内水氾濫)の危険度
河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による洪水被害のおそれがあると認められるときに発表。

警戒【警戒レベル3相当】
注意【警戒レベル2相当】
洪水浸水想定区域(浸水深5.0m以上)
洪水浸水想定区域(浸水深3.0m以上)
洪水浸水想定区域(浸水深0.5m以上)

平成30年7月豪雨の被害状況
○由良川沿川の舞鶴市、福知山市において浸水被害が発生。
(※床上浸水 合計約170戸、床下浸水 合計約600戸)



平成30年7月豪雨の概要(近畿管内)《第8報》
平成30年8月10日近畿地方整備局

ハッチ表示はON/OFFできるようにボタンを追加(デフォルトOFF)

洪水浸水想定区域
湛水型内水氾濫の危険度
指定河川洪水予報
地図の色
ツール

ボタンON時に凡例を表示

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

- 中小河川まで含めた表示改善には、新たな電文に伴う利用者側のシステム改修が必要となり、一定の準備期間を要することから、洪水予報河川（大河川）と中小河川の2段階に分けて本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の表示改善に取り組む。



【令和2年出水期から】

- 雨が降っていない場合であっても、本川の流域雨量指数が一定の値に到達した場合には、支川氾濫の危険度の高まりについて自治体への連絡等を実施するよう改善。

改善の方向性

- ✓ 雨が降っていない場合の湛水型の内水氾濫について、従来の表面雨量指数と流域雨量指数を組み合わせた基準に加え、流域雨量指数単独の基準も設定して支川氾濫の危険度を適切に判定。
- ✓ まずは、過去に当該災害のあった事例に限って基準案を設定。
- ✓ 設定した基準案を超えると予測された場合には自治体への連絡等を実施。

気象庁 eラーニング教材『大雨のときにどう逃げる』

あなたの命、あなたの大切な人の命を守るため

～台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ～

eラーニング教材の特徴

- ・ 時間や場所を気にせず誰でも自由に受講できるよう、気象庁ホームページで公開。
- ・ 5つのステップで、自宅の災害リスク、いつ、どこへ避難すべきか*を学習。
- ・ 各ステップごとのふりかえりテストで、重要ポイントを確認しながら学習。
- ・ 誰でもスムーズに学習できる、動画（各15～20分程度、音声解説付）形式の教材。
- ・ できるだけ一方的な説明・解説を避け、受講者にも一緒に考えてもらう教材。

※ 内閣府が「避難の理解力向上キャンペーン」として全国展開する「避難行動判定フロー」「避難情報のポイント」を基本とする内容
(内閣府公開資料) <http://www.bousai.go.jp/fusuigai/typhoonworking/pdf/houkoku/campaign.pdf>



パソコンやスマホ等で
時間や場所を気にせず
自由に受講
(住民の皆さん)



音声解説付き動画教材
(教材イメージ)

アドレス：<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

学習する5つのステップ

01. 避難の理解からはじめよう
(避難を行うためのポイントを理解しよう)
02. あなたの家は大丈夫？
(あなたの家の災害リスクを知ろう)
03. どこに逃げたらいい？
(大雨の時の避難先)
04. 避難するときどうする？
(避難にかかる時間を考えよう)
05. いつ逃げたらいい？
(あなたの避難のタイミングを考えよう)

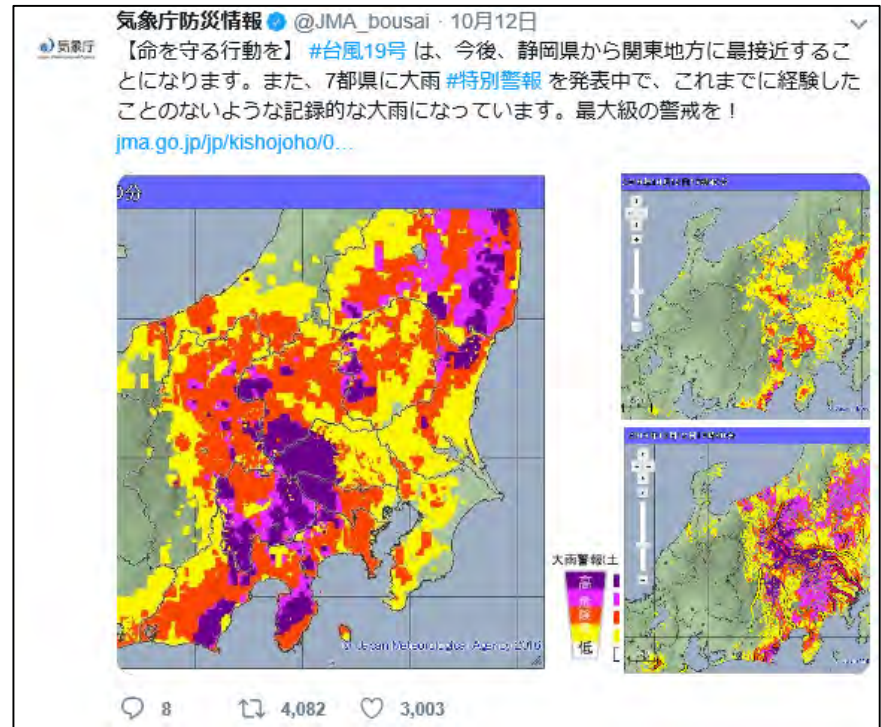
台風・豪雨時に備えて
・自宅の災害リスク
・いつ避難すべきか
・どこへ避難すべきか
...が学べます。



令和元年10月4日にアカウント開設

台風の接近等による大雨等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している際に、気象庁が持つ危機感をより効果的に伝え防災行動に役立てていただくために、気象庁防災情報Twitterアカウントを新たに開設し運用を開始。

本アカウントでは、台風の接近等による大雨や、地震、火山噴火の発生等により顕著な災害の発生が想定される、あるいは既に発生している場合に、現況や今後の見通し、防災上の留意事項等を発信。



気象庁防災情報Twitter

https://twitter.com/JMA_bousai

【令和2年3月25日】

令和2年3月25日から開始

従来のテレビ等に加え、より多くの方に気象庁の危機感を伝えるため、YouTubeを利用した「緊急記者会見」のライブ中継を開始。

気象庁公式YouTubeチャンネルURL
<https://www.youtube.com/channel/UCajQ4ZQJrgwSxkF6xaCfrRw>



令和2年3月31日から開始

防災気象情報の利活用への新たな理解・促進策として、防災特設ページを新設するTikTokと連携し、防災気象情報の普及啓発コンテンツの配信を開始。

